

1 園運営の充実

(1) 教育・保育の質の向上を図るカリキュラム・マネジメントの推進

- ① 教育・保育目標の達成に向け、目指す子どもの姿を明確にし、その姿を実現していくための組織的・計画的な教育・保育活動の充実を図る。

【具体的施策】

□園の実態や園評価と関連付けて園目標を見直し、目指す子どもの姿を明確化する。その達成に向けた重点目標を設定し、組織的・計画的な取組を推進するため、職員間で共通理解を図る。

□保育実践、評価・改善のサイクルを通し、乳幼児期に育みたい資質・能力を育成するとともに、自己評価、学校（園）評価等を活用し、教育・保育の実施に必要な人的・物的な体制の充実を図る。

- ② 重点や視点を明確にした保育の記録を蓄積し、子ども理解を深め、保育の意図と子どもの思いのバランスのとれた保育ができるよう、キャリアステージに応じた計画的な研修及び内容の充実に努め、人材育成を図る。

(2) 園運営の改善を図る学校（園）評価の推進

- ① 評価機会を年複数回設け、改善を図るべき内容を短期・中期・長期の視点で整理し、課題解決に向けた明確な見通しをもつ。
- ② 学校（園）評価の実施及び結果の公表により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者・地域住民等から理解と参画を得て、連携・協働による地域に開かれた園運営を進める。
- ③ 学校（園）評価を全体的な計画等の見直し・改善に生かすよう努める。

2 教育・保育の充実

(1) 様々な人やもの、こととの関わりの中で、自己を発揮し、自他を認めながら協同して取り組もうとする子どもの育成

- ① 主体的に環境に関わる教育・保育を通して、子ども一人一人が満足感・充実感を高めることができるようにする。
- ② 発達の連続性を理解し、子どもに必要な経験を積みせながら、乳幼児期の教育・保育において育みたい資質・能力の育成を図る。
- ③ 自ら考え、判断し、行動しようとする子どもを育む教育・保育を推進する。

(2) 発達の段階を踏まえたキャリア教育の推進

- ① 身近な人に認められたり、役に立ったりする喜びを通して、様々な活動に自信をもって意欲的に取り組む子どもの育成を図る。
- ② 友達や異年齢児との遊び、直接的・具体的な体験を通して、仲間や園、場所やものへの愛着心を育むことができるようにする。

(3) 子どもの内面理解に基づいた評価及び保育の実践

- ① 子どもの実態を把握し、保育のねらいと内容を明確にすることで、的確な評価につなげるよう努める。
- ② 子どもの姿や変容を、乳幼児期の教育・保育において育みたい資質・能力や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の視点で見取り、発達の過程を踏まえた保育の改善に生かす。

(4) 園と小学校との協働による円滑な接続の推進

3 子育て支援の充実

(1) 子育て支援体制の整備と保育者の専門性を生かした支援の推進

- ① 家庭の様々な状況に対応できるよう、地域の関係機関等と連携・協働を図り、園全体の子育て支援体制を整備し、組織的な取組を推進する。
- ② 保育及び子育てに関する知識や技術等、保育者の専門性や園の特性を生かし、保護者が子どもの成長に気付き、子育ての喜びを感じることができるような支援に努める。
- ③ 一人一人の保護者を尊重し、保護者の気持ちに寄り添いながら深く理解する姿勢を保ち、相互の信頼関係を築く。

(2) 教育・保育と密接に関連した保護者支援の推進

- ① 子どもの様子についての情報交換や、教育・保育の意図の説明等を通じ、日常的に保護者と相互理解を図る。

【具体的施策】

- 保護者に対して、連絡帳、送迎時の対話、お便りや掲示板での伝達等、様々な機会を活用しながら、子どもの様子について育ちの視点で情報発信する。
 - 園での生活と家庭での生活の双方が充実するよう、子どもの興味・関心のつながりを考慮した保育実践を心掛ける。
- ② 保護者が自らの子育て実践力を高めていくことができるよう、保育の活動に対する保護者の積極的な参加を促すとともに、参加しやすい環境づくりに努める。

4 教職員の資質向上

(1) 各園の課題解決を図る、組織的・計画的・継続的な研修の推進

- ① 園長等のリーダーシップの下、計画的な研修推進が可能となるよう、組織づくりや研修内容を工夫する。
- ② 研修リーダーを核として、PDCAサイクルを機能させ、日々の保育実践を通じた知識及び技術の習得、向上に努めるとともに、保育者同士が主体的に学び合う体制を構築する。

【具体的施策】

- 保育参観や協議等を通して、乳幼児期において育みたい資質・能力の育成を図る保育の手立てについての成果や課題を捉え、その後の保育改善の視点とし、実践に生かすことができるようにする。
 - 研修内容や運営についての評価（中間及び年度末等）を実施し、改善を図る。
 - 研修への全員参加が難しい場合、研修期間に幅をもたせたり、短時間でポイントを絞った保育参観をしたりするなど、研修の運営方法を工夫する。
- ③ 近隣の園や小学校への保育公開等を通して、地域で学び合う体制の構築及び充実に努める。

(2) 秋田県教職キャリア指標（保育者）を踏まえた体系的・計画的な研修の推進

- 園内研修の組織的・計画的な推進や、関係機関等による外部研修への参加機会の確保に努め、それぞれの保育者がキャリアステージに即した実践的指導力を習得することができるようにする。